

令和4年度第1回鶴岡警察署協議会の開催

日 時	令和4年7月12日(火) 午後2時30分から午後4時までの間
場 所	鶴岡警察署 401会議室
出席者	協議会委員：会長以下8名 警察署員：署長以下12名
議 題	警察業務全般に対する意見・要望等

【協議内容等】

委員からの意見等	警察署の回答
横断歩道の道路標示が薄くなっている場所があり分かりにくく危険なので、塗り直しをしてほしい。	横断歩道の補修は、交通環境、交通量などを勘案して優先順位の高いものから予算の範囲内で順番に実施しています。 春先の早い時期から始め、必要性の高い場所から順番に補修しています。
標識の設置箇所は、どのような基準で決められているのか。	警察が設置する標識に関しては、警察庁が示す交通規制基準という全国的な基準に基づき設置場所、間隔、高さ、角度等が規制種別毎に決められています。
木などで標識が見えにくくなっている場合はどのように対応しているのか。	木で標識が見えにくくなっている場合は、交通規制の効力自体が失われてしまうおそれがあるため、木の持ち主から木を伐採してもらうなど必要な措置を講じながら適正な管理に努めています。
管内のバイクや自転車の交通事故の特徴について教えてほしい。	1 バイクの交通事故の特徴 原因は出合い頭、右折対直進の事故が多い 当事者は50歳以上のドライバーが多い 2 自転車の交通事故の特徴 原因は出合い頭が多い 当事者は高校生や高齢者が多い
自転車のヘルメット着用の啓発活動について教えてほしい。	令和元年12月から県条例で、自転車乗車時のヘルメットの着用が努力義務化となっています。 学校における自転車教室、校門前での啓発活動、高齢者に対する自転車教室などあらゆる機会を通じて自転車乗車時のヘルメット着用について指導啓発を行っています。
自転車に対する交通安全指導はどう	各学校等において交通安全教室を開催し

しているか。	交通ルールを指導しています。
交差点を右折する車両の後方を追隨する場合の注意点は何か。	前車に続いて右折する際は、安全な車両間隔や安全確認等の注意義務があります。交差点を右折する際は、対向車の有無、特にバイクなどを見落とさないように注意が必要です。
こども110番連絡所に子供が駆け込んだ事例はあるか。	県内での事例があります。
こども110番連絡所の方はどのような研修を受けているか。	過去に、連絡所設置に協力いただいている方の依頼に基づき講習会を開催したことはありますが、必ず受けなければならない研修や訓練等はありません。県警ではこども110番連絡所の役割や対応要領などを記載したマニュアルを作成しています。設置に御協力いただいた方に、そのマニュアルを交付して、役割や有事の際の対応について周知を図っています。
こども110番連絡所の選定はどうしているか。	当署管内では学校が中心となって選定を行っています。
やまがた110ネットワークにより配信された行方不明事案の手配を元に行方不明者が発見された事例はあるか。	やまがた110ネットワークの配信メールを見た方が行方不明者を発見した事例は県内で複数あります。今後も、同ネットワークが有効に活用されるよう登録拡大を推進していきます。
警察では、行方不明者をどのように捜索しているのか。	御家族等から行方不明者届を出してもらい、警察のシステムにその方を登録して手配します。届出受理と並行して、行方不明となった状況に応じて、立ち寄りそうな場所などの発見活動をします。警察犬を使う場合もあります。
山菜採りの行方不明者も警察で探すのか。	山菜採りなどでいわゆる山岳遭難的な形で行方不明になった場合も、警察は、山岳遭難救助隊等と連携して捜索します。

【協議状況】

